

令和4年度 第1回西区自治協議会会議録

日時：令和4年4月25日（月）午後3:00～

会場：西区役所健康センター棟1階 大会議室

（八木澤係長）

それではご案内させていただきます。本日は皆さまお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。まだお見えになっていない委員さんがいらっしゃいますが、時間となりましたので、始めさせていただきますと思います。

ただいまから令和4年度第1回西区自治協議会を開会します。本日の出席委員は通常参加35名、リモート参加0名、計35名の予定であります。まだ遅れている方がいらっしゃいますが、欠席の連絡はいただいております。新潟市区自治協議会条例第9条第2項の規定を満たしておりますので、本日の会議が成立していることを報告させていただきます。

なお、本日の会議につきまして会議録の公表にあたり、正確性を期すため、会議の内容を録音させていただきますことをご了承いただき、また発言の際には皆様の所属、お名前をお知らせいただきたいことをお願いさせていただきます。

併せて、本日の会議ですが、「新しい生活様式」に基づいた新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して開催いたします。皆様からはマスクを着用いただき、職員もマスクを着用したままで発言をさせていただきます。

なお説明者席には飛沫防止スクリーンを設置しております。発言の際にはマスクを外して説明させていただきますことをご了承ください。

また会議中、気分の悪くなった方など、もしいらっしゃいましたら、近くの職員にお声がけください。

それでは資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。事前に配布いたしました資料は次第と資料1から資料4までとなっております。本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

今、職員がまいりますので、少々お待ちください。大島委員。ありましたか。あったそうです。ありがとうございます。他はよろしかったでしょうか。

では続きまして、本日配布しました資料の確認をさせていただきます。まず一番上にありますのが座席表です。そして令和4年度西区自治協議会開催予定。その他各種チラシ3枚をお配りしております。不足のものがございましたら、挙手をお願いいたします。

よろしかったでしょうか。資料の確認は以上となります。

今回の本会におきまして、報道関係者から取材の申し出があった場合、許可したいと思います。よろしいでしょうか。

<はいの声あり>

(八木澤係長)

ありがとうございます。それではご承知おきください。

それでは本会を始めさせていただきます。まず初めに会議の開催にあたりまして、区長の水野よりご挨拶を申し上げます。

(水野区長)

皆様、こんにちは。この4月から西区長に就任いたしました水野利数と申します。3月の自治協議会でも一度ご挨拶させていただいておりますが、今年度初めての自治協議会ということで、一言ご挨拶させていただきます。

私は10年前にも西区の勤務経験がありまして、当時から区民の皆様が主体的に地域福祉や環境美化、防犯・防災など、さまざまな地域課題に積極的に取り組んでいるという印象を持っております。

着任後、コミュニティ協議会様にご挨拶させていただきまして、地域の課題等について意見交換をさせていただく場面がありました。西区自治協議会の皆様からは、地域代表、協働の要として、日頃から西区の発展のために、さまざまな分野にご理解とご協力、ご尽力を賜っており、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

また8期2年目の今年度は、新たに3名の委員の方々に就任させていただきました。就任にあたりまして、快くお引き受けいただいたことにお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今年度本自治協議会では、第1部会による「環境美化」の取り組みや、第2部会による「支え合いの大切さ普及事業」、第3部会による「区の魅力発掘事業」が展開されるほか、今年度で第10回を迎える「西区アートフェスティバル」が開催されます。

さらには自治協議会の取り組みを区民の皆様に広くお伝えするために、西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」を3回発行することで、自治協議会の認知度の向上にも取り組んでいただきます。改めて、その熱心かつ着実な活動に感謝申し上げます。

昨年度より皆様にご協力をいただきました令和5年度より8年間を計画期間とする次期区ビジョンまちづくり計画の策定に向けて、今年度も引き続き皆様のご協力をいただきながら取り組んでいくこととなりますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

結びに「西区に住んでよかった」、「西区に住み続けたい」、区外の方や若い方々から「西区に住んでみたい」と言っただけの「住み心地のよいまち」に努めていきますが、まちづくりは区役所の力だけではつくれるものではありません。協働の要として自治協議会の委員の皆様から、これからも西区のまちづくりに区役所と共に取り組んでいただくことを、改めてお願いさせていただきます。どうぞこれからの1年間、よろしく願いいたします。

(八木澤係長)

それでは、これより新しく委員に就任された方へ、委嘱状の交付を行います。

高島委員、佐賀委員、高橋史明委員は前方にお並びください。前へお願いいたします。

また本日資料1といたしまして、4月18日時点の名簿もお配りしております。本日初めてお顔を合わせる方もいらっしゃるかと思いますので、委員の皆様のお顔を覚えていただければと思います。

(水野区長)

委嘱状、高島圭介さま、西区自治協議会委員に委嘱します。委嘱期間は令和5年3月31日までとします。令和4年4月1日、新潟市長、中原八一。

委嘱状、佐賀羽奏様、西区自治協議会委員に委嘱します。委嘱期間は令和5年3月31日までとします。令和4年4月1日、新潟市長、中原八一。

委嘱状、高橋史明様、西区自治協議会委員に委嘱します。委嘱期間は令和5年3月31日までとします。令和4年4月1日、新潟市長、中原八一。

(八木澤係長)

ありがとうございました。それでは1年間、よろしく願いいたします。それでは自席へお戻りください。

続いて水野区長より、事務局を紹介させていただきます。

(水野区長)

それでは私から、本年度これから皆様と区の課題の検討などをさせていただく事務局職員を紹介します。新所属長からは一言挨拶をいただきます。加藤副区長兼総務課長。

(加藤副区長兼総務課長)

よろしく申し上げます。

(水野区長)

高山地域課長。

(高山地域課長)

この4月より地域課長になりました高山と申します。皆様と一緒に進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(水野区長)

治田区民生活課長。

(治田区民生活課長)

区民生活課長の治田でございます。この4月から課長補佐から昇任いたしました。皆様のご意見を聞きながら、より親しみやすいまちづくりに尽力してまいりますので、どうぞよろ

しくお願いいたします。

(水野区長)

田中健康福祉課長。

(田中健康福祉課長)

2年目になります。引き続きよろしくお願いいたします。

(水野区長)

田中保護課長。

(田中保護課長)

3年目になりました。よろしくお願ひします。

(水野区長)

石附農政商工課長。

(石附農政商工課長)

この4月より農政商工課食と産業振興室長から農政商工課長となりました石附と申します。農業をはじめとする西区の産業の振興に努めてまいります。ぜひよろしくお願ひいたします。

(水野区長)

渡辺建設課長。

(渡辺建設課長)

引き続きよろしくお願ひいたします。

(水野区長)

野崎西出張所長

(野崎西出張所長)

この4月より西出張所に赴任しました野崎と申します。よろしくお願ひいたします。

(水野区長)

真壁黒崎出張所長

(真壁黒埼出張所長)

黒埼出張所長、真壁です。この4月よりよろしくお願ひいたします。34年の行政経験を生かして、協働のまちづくりに努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

(水野区長)

福田教育支援センター所長。

(福田教育支援センター所長)

教育支援センターの福田です。2年目になりました。よろしくお願ひいたします。

(水野区長)

高島坂井輪地区公民館長。

(高島坂井輪地区公民館長)

4月から館長を務めさせていただいております坂井輪地区公民館、高島と申します。公民館2年目になりました。よろしくお願ひいたします。

(水野区長)

真柄坂井輪図書館長。

(真柄坂井輪図書館長)

よろしくお願ひいたします。

(水野区長)

以上のメンバーで、本会や所管部会に出席をさせていただきます。1年間、よろしくお願ひいたします。

(八木澤係長)

ではこれ以降の進行は、大谷会長にお願ひいたします。よろしくお願ひします。

(大谷会長)

それでは議事に入りたいと思います。議事の(1)令和4年度区自治協議会提案事業の「支え合いの大切さ普及事業」企画書についてであります。第2部会長より部会の状況報告と併せてご説明をお願ひいたします。

(五十嵐加代子委員)

令和4年度区自治協議会提案事業「支え合いの大切さ普及事業」企画書を皆様にご提示さ

させていただきます。この2部会の支え合いはこれで3年目となります。昨年度はチラシ、ポスターをもって支え合いの普及ということでやらせていただきましたが、ごめんなさい。資料2になります。すみません。資料2です。申し訳ありません。資料2をご覧ください。すみませんでした。

ということで今年度はそれに加えての事業の展開をさせようということで、今回この企画書を提案させていただいております。まず1番の目的は、西区民が現在「支え合い」についてどのような意識を持っているのか、現状を把握し、効果的な手法で支え合いの大切さを広くの西区民に広めることで、いざという場面で能動的に支え合いを行える人を増やす。

対象としては、西区区民全世代を対象にしております。

3番目、概要です。現在の西区の「支え合い」の現状について、実態調査を行い、より広く「支え合いの大切さ」を普及するためにはどのような手法が効果的なのか検討する。調査の方法といたしましては2つあります。1つ目は区民に対するアンケートの実施。2つ目が支え合いについて議論をするワークショップの開催です。

この開催につきまして、4番にスケジュールの予定が記載のとおりでございます。支え合いの大切さの普及のために、今回はこれをより深く、アンケートなり、ワークショップをやり、深めていきたいという提案をさせていただいております。

ということで資料3の2枚目です。部会の所になります。「支え合いの大切さ普及事業」について、一番上の所です。3月部会を踏まえた企画書案について。大丈夫でしょうか。

3番目の部会の方からはこの企画、特に内容に修正はないということで、この企画書を本会に提出させていただきました。これをもとに提案を審議していただきたいと思っております。

(大谷会長)

よろしいですか。それから会議概要、その他、次の会議の日程も説明していただきたいと思っております。

(五十嵐加代子委員)

それでは2部会の2ページ目の所になります。企画書の案の中の、アンケート・ワークショップの具体的内容について議論いたしました。皆さんの意見から出されたのは以下のとおりです。まずはアンケート・ワークショップの進め方等について勉強する機会がほしいということ。それから過去に行ったアンケートなどを参考に見たい。それから普段「支え合い」に触れていない方の声を聞きたい。それから最終的な目標は、誰もが気軽に日常的に支え合いに関われるようにすることであり、その手法を令和4年度の事業を通して考えたい。

その旨をもって澤邊委員によりアンケートのたたき台が提示されました。アンケートの項目について、方向性の共有を行いました。議論の結果、まずは参考となる事例を集めた上で、それらを参考にしながら、アンケート・ワークショップの具体的な内容を検討することといたしました。ということで今回この本会におきまして、企画書を提示させていただきます。

した。

その他につきましては、次回開催日時におきましては5月10日、午後1時15分より開催をさせていただきます。

(大谷会長)

ありがとうございました。ただいま事業の企画書を説明いただきましたが、併せまして2部会の会議概要について報告いただきました。ただいまの説明について質問はございませんでしょうか。

ないようです。それでは令和4年度自治協議会提案事業「支え合いの大切さ普及事業」をこのとおり進めてよろしいでしょうか。

<異議なしの声あり>

(大谷会長)

ありがとうございました。それでは部会長を中心に準備のほうをよろしく願いいたします。

続きまして自治協議会からの報告の(1)部会の状況報告についてであります。概要を各部会長より簡潔にご報告をお願いいたします。それでは第1部会長、お願いいたします。

(岩沢委員)

第1部会の岩沢でございます。お手元の資料3を見ていただきたいと思います。令和4年度第1回会議が実施されました。4月12日、場所はここの健康センターです。出欠につきましては下記のとおりであります。

議事につきまして、1 令和4年度自治協議会提案、環境美化企画案について話し合われました。その中で3月の部会審議を踏まえて修正した企画書をもとにパートナー制度について検討を進めました。パートナーとなる団体に配布するごみ袋のデザインについて検討しました。

委員の中から建設的な、前向きなご意見がありましたので、ちょっとご披露したいと思います。1つは西区ボランティア清掃で使用しているごみ袋のデザインをベースに一部改良してはどうか。2つ目は「西区をきれいに」を上段に入れて、インパクトを上げようということであります。それから3つ目は、「私たちがやっています」というイメージアップのために言葉を入れ、企業が自由記載できる枠を、どこの事業をやったかどうか分からないということでは、ちょっと意識も高まらないだろうということで、あえてこの事業の紹介を設けたということでもあります。次年度以降も継続して使用できるように、年度を入れずに「西区自治協議会提案事業」としてはどうか。

これはご案内のようにSDGsじゃありませんけれども、継続が目標です。環境美化については、単年度で評価できるものではありません。従いまして、年度を入れますと、たまた

ま残った袋が出て無駄になるということもありまして、効率を上げるために年度を入れな
いで、今言ったように継続を目標ということで、長年にわたってやっているということにお
願いしました。

それからパートナーとなる団体に積極的に取り組んでもらうために、実施期間中の延べ
人数をホームページ等で記載することにしました。これはお互いに認識を深めるという意
味で、ホームページに掲載することになりました。

それから参加要件が手広くするために、コミュニティ協議会、まちづくり協議会もあるで
しょう。それから自治会を含め、任意団体で底辺を広げて、1人でも多くごみに関心をもた
ないか、という意味ですることになりました。以上の意見を反映した企画書をもとに、5月部
会で再度検討を進めることとしました。

ここで問題になったのは、パートナー事業、そして本日言うことだったのですが、残念な
がら時間の関係で、今回は4月のはパートナー制度に絞ってしまいました。従って5月におい
ては個人を含めて検討したいと思っています。

その他で次回でありますけれども、5月11日、場所は未定となっておりますが、区役所の
4階の対策室ですということです。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。第2部会は議事の(1)で状況報告も併せてご報告いたしまし
たので、割愛をさせていただきます。続いて第3部会長、お願いいたします。

(岩脇委員)

それでは第3部会の会議概要を報告いたします。所管分野は、産業、区の魅力発信、交通
等でございます。開催日時、会場、出席者は記載のとおりでございます。

主な議事として令和4年度自治協定案事業、「区の魅力発信・賑わい創出」企画書(案)
についてでございます。3月部会の審議を踏まえ、修正した企画書案について事務局から説
明がありました。令和4年度の部会審議の進め方について、山賀副部会長から説明がありま
した。括弧の中は委員から出た主な意見でございます。

平成31年度の第3部会で一度魅力を落とし込んだマップを活用し、可視化作業をしては
どうか。魅力をマップなどで可視化することによって、個々の魅力を(点)ですね。グルー
ピング。点と線を結ぶことで、もっとわかりやすくなるのではないかと。地域ごとの魅力を線
でつなげ、そこに暮らす人の姿が見える掘り起こしもよいのではないかと。魅力を数値で表す
ことでわかりやすくなるのではないかと。区民から区だより等を通じて魅力を募集してはど
うか。区民の生活の中に溶け込んだ魅力を区外の人目線で見ることによって、魅力を再発見す
ることができるのではないかなど、こういう意見が出ました。

私は、ここに記載されていないのですけれども、どうしても提案事業1件50万各区に割
り当てられているのですね。ここ数年間、どうしてもそういう提案事業の、失礼な言い方だ
けれども、あるから使うと、そういう傾向が見られるのではないかとということで、ここに記

載されておられませんけれどもね。

これからはやはり単年度事業であると、どうしても時間がない。各部会でその事業遂行のために1年が過ぎて、本来の地域課題が議論されていない。そういうところを説明して、これからは区の提案事業じゃなくて国のそういう補助金、通産とか国交省のそういう取組等を利用して、ある程度大体3年間の事業計画で目的を果たせるんじゃないかという方向性を、これから聞きましたのでそれはいいことだということで、これからは提案事業とは別にそういう方向性で行くことによって、区民の方々に数値目標が表せられるんじゃないかということで、農政課長もおられますので、農政課長と各商工会の会長さん等々の意見を聞きながら進めていきたいと、これは記載されていませんけれどもね。

これから近い将来はそういう形でやっていかないと、単年度事業はもう限度がきているんじゃないかなという、私個人は思っております。

その他ということで、今回は5月10日、午後3時でございます。以上、終わります。

(大谷会長)

ありがとうございました。続きまして、アートフェスティバル特別部会長、お願いいたします。

(田中米三委員)

西区自治協議会アートフェスティバル特別部会。所管は西区アートフェスティバルの企画・実施に関する事項。4月12日火曜日に下記のとおり行われました。今回最初に副会長の退任がありましたので、互選により副部会長に高橋(直)委員が選出されました。

令和4年度西区アートフェスティバルについて。(1)企画書たたき台について。令和4年度西区アートフェスティバルの方向性及びスケジュール等についてたたき台をもとに検討いたしました。委員から出た主な意見は以下のとおりです。

音楽・芸能団体発表。コロナ禍において、昨年は中止、一昨年は2団体のみリモート配信という形をとった。各団体ともに一生懸命練習を積み重ねてきているので、感染拡大により中止にすることのないよう、最初から配信ありきで事業の検討をしたほうがいいのではないかと。今年が第10回目の節目の年なので、どんな形であれ開催できるように準備を進めたい。詩吟を参加団体に入れてはどうか。

音届部門。「おん×てつく部門」に改めたほうがいいのではないかと。音楽と工学の融合であることを事業内容に記載してはどうか。コールセンター等での事前申し込みは行わずに実施する。

2 令和4年度西区アートフェスティバルについて。(2)出演団体について。音楽・芸能団体発表の出演団体について検討を行いました。1団体20分の持ち時間とし、感染防止の観点から多くても7団体とすることとしました。昨年出演予定だった団体にまず出演の打診をし、その結果に応じて出演者を検討することとしました。(1)(2)それぞれの検討事項を反映させた企画書(案)をもとに、引き続き部会で検討を進めることとしました。次

回は第2回、5月19日、午前10時30分から行います。以上です。

(大谷会長)

ありがとうございました。以上で部会の状況報告は終わりとなります。報告全体を通して、質問はございませんでしょうか。

ないようですので、次に進みます。

続きまして、各所管課からの報告の(1)令和4年度西区の予算についてであります。加藤副区長よりご説明をお願いいたします。

(加藤副区長兼総務課長)

それでは総務課長の加藤でございます。令和4年度 西区の主な取り組みということで説明させていただきますが、資料4をご準備いただきたいと思います。

西区の予算総額でございます。市役所から区に直接配分される予算総額は人件費を除きますと、約14億5,700万円。前年度に比べまして、4,200万円の減額となっております。この主な理由は黒埼健康センター及び黒埼農村環境改善センターの下水道工事がなくなった分の減によるものでございます。本日はこのうち、これまで予算編成の過程で自治協委員の皆様からご議論をいただきました特色ある区づくり事業、3,200万円を中心に説明させていただきます。

西区では平成27年度から令和4年度までの8年間でご覧の5つの西区区ビジョンまちづくり計画、目指す区の姿、この実現を目指して、魅力ある西区のまちづくりに取り組んでまいりました。なお、これまでも区ビジョンの取り組みの成果につきましては、昨年12月に開催しました「自治協議ワークショップ」でお配りしております、これですね。この資料になりますが、これまでの取り組みでお示ししておりますので、そちらをご確認いただきたいと思います。新しく委員に就任された3名の方については、本日机上配布しております。

それではそれぞれの事業について、説明いたします。まず特色ある区づくり事業についてです。この事業は区独自の課題解決に向けた取り組み。区の魅力や特徴を生かした取り組み。区民との協働による取り組み。これらについて自治協議会の皆様のご意見をお伺いし、区において内容を決めることができる事業です。西区はご覧のとおり14事業で、総額3,200万円となっております。これから説明しますが、新たな取り組みを中心に順次説明してまいります。

初めに「西区健康ステップアップ事業」は生活習慣病や健康寿命延伸のための事業となります。

次に「地域共生の西区づくり事業」は、地域の茶の間などの研修会をはじめ、高齢者や障がい者の自立、地域との共生につなぐ事業を地域の皆様と共に引き続き進めている事業でございます。

続いて「もの忘れあんしん西区推進事業」です。これは新たに取組んだ試みでございます。西区内でも現在6,000人～7,000人、もしくはそれ以上に認知症の方がいるのではない

かと考えております。認知症は特別な病気ではなく、誰もが加齢に伴い認知症になる可能性があります。しかし、認知症は現在のところ残念ながら医療で治るというものではございません。認知症に関する施策は、正しい理解を深める普及啓発を通じまして、予防、早期発見、その症状に応じた対応、介護サービス事業活用といった段階に進むものでございます。医療や介護、さらに認知症になっても、慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、社会全体で支える総合的な取り組みが必要と考えております。

西区では地域の方の認知症に対する意識を高めることで、認知症の予防に向けて、令和4年度から新たに取り組むものでございます。事業概要は西区に住む認知症と診断されていない65歳以上の高齢者を対象に、認知機能検査を医療機関などに委託して実施することを予定しております。また検査だけではなく、医療関係者などの専門スタッフによるセミナーなど、地域の方に認知症の予防や認知症の方に対する接し方などについて、正しい知識を知っていただきたいと考えております。

「つながり支えあう子育て応援事業」は少子化に対応しまして、子どもを安心して産み育てられるよう、記載の子育て支援の充実を進めてまいります。

「安心安全なまちづくり支援事業」は近年多発する自然災害に対応し、地域の防災力の強化や、高齢者による交通事故の減少に向けた交通安全指導などに、引き続き取り組んでまいります。

続いて、「西区のおいしい農産物魅力発信事業」として、地域の関係者の皆様と各種ブランド化やプロモーションなどを実施し、購買につながる取り組みを進めてまいります。

続いて「西区の魅力を体験！まち歩きと収穫体験」は、区内の小学校と連携しまして親子収穫体験を開催し、食と農への理解を深めます。

また区内にある自然景観や地域の歴史文化などの観光資源を活用し、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図ってまいります。

「西区スポーツスマイルプロジェクト」では、より多くの区民の皆様から、スポーツや運動することの楽しさを感じてもらい、継続して取り組んでもらえるよう、スポーツ健康事業など、新潟の内部とも連携した事業を実施してまいります。

「西区農業女子のすゝめ事業」は新規事業でございます。西区で活躍する女性農業者を対象としたワークショップを開催いたします。多様な担い手の確保に向け、西区で活躍している女性農業者の掘り起こしを行い、関係機関や女性農業者を交えまして、女性農業者の位置づけや働きやすい環境など、女性ならではの課題の共有、解決方法を検討してまいります。具体的にはワークショップの中で検討しておりますが、スキルアップなどの研修会、ネットワーク化など、地域をリードする女性農業者の育成を目指して開催してまいります。

続いて「きれいなまちづくりサポート事業」です。西区一斉クリーンデーへの支援協力によりまして、環境美化活動に取り組むなど、小学生を対象にしたポスターコンクールなどを行いまして、環境保全への関心と意識を育ててまいります。

続いて、「やってみよう！地域で考える雪対策モデル事業」です。これは新規事業になります。地域の除排雪を図り、安心して暮らせる冬の生活環境を形成するためには、区と区民

が一体となり、それぞれの役割を担い共同で行う必要があります。もっとも身近であるコミュニティ協議会や自治会の皆様に除雪の仕組みや課題、大雪時の行動などを考えていただく機会をつくり、自分たちで何ができるか除排雪の課題や工夫や対応などについてワークショップ形式で意見交換をし、地域の除雪計画の策定を行います。また小型除雪機の貸与とスノーダンプの団体支給を行い、地域除雪を支援してまいります。

続いて「出動！西区地域盛り上げ隊」（中学生みらいデザイン編）です。次代を担う中学生が自分のまちをよく知り、関心を高めることを目的に、地域の課題解決の方法をコミ協の皆様と共に考えるワークショップなどを引き続き開催してまいります。

一つ飛ばします。西区自治協議会提案事業です。コミ協でSNSを活用するなど、区民の環境美化意識、行動につながる取り組みや、地域の支え合い活動に対する支援を行い、支え合い活動の大切さを広める活動のほか、西区のさまざまな魅力を掘り起こし、誰もがわかるように可視化する取り組みを行います。また区ビジョン策定のための西区民へのアンケートを実施するほか、西区の防災力向上のための、各地域や団体にかかる課題を明らかにした解決方法の検討なども行ってまいります。

ここからは区ビジョン以外、区づくり事業以外のものでございます。初めに新規事業の「なぎさのふれあい広場緑化事業」です。なぎさのふれあい広場において、客土吹付工事などを行いまして、早期の緑化を行い、飛砂防止を図る事業を、隣接の県の事業と共に行って、効果を高めてまいりたいと考えております。

もう一つ新規事業の「土砂災害情報配信事業」です。西区内の土砂災害警戒区域は、25カ所指定されております。多くが住宅地内にあるという宅地性があります。現状は土砂災害時の避難情報は、地元自治会にお願いをして、地元自治会の連絡網で伝達をしていただいておりますが、ラジオとかテレビ、こういった避難情報は「〇〇町の一部」としか報道されず、避難対象世帯なのかどうかということが正確に伝えられていないという課題もありました。そこで土砂災害の避難対象世帯に迅速で確実に避難情報をお届けするために、一斉電話配信サービスを導入するというものとなります。

以上で令和4年度の主な事業の説明を終わります。最後に少子高齢化社会を迎え、IT社会があったり、脱炭素、それから経済、社会、環境といった自然ニーズ、地域課題があります。こうしたさまざまな課題を同時に解決しなければならないという状況となっております。

私たちの行政の予算、それから市の職員の削減といいますが、それから地域においては労働人口の減少といったさまざまな問題がある中で、できるだけ環境・社会・経済同時にということですが、こういったものに対応していきたいと考えております。今後策定される区ビジョンを見据えまして、今年度市民の皆さんと一緒に取り組んでまいらなければならない事業でございますので、ぜひお力添えをいただきたいと思っております。以上で予算の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(大谷会長)

ありがとうございました。ただいまいろいろと説明をいただきましたが、質問、広川委員、お待ちください。

(広川委員)

資料4の1枚目、前年比4,189万の減。これの主なもののが黒埼健康センターと改善センターへの下水道工事を年次計画で予定していたものを実施しないということですよ。

(加藤副区長兼総務課長)

違います。令和3年度に予算計上しておりました。例えば黒埼健康センター下水道工事1,260万円。これは完了したので、令和4年度は予算計上がありません。

(広川委員)

そういうことですか。

(加藤副区長兼総務課長)

そういうことです。

(広川委員)

3年度で終わった。

(加藤副区長兼総務課長)

そういうことです。

(広川委員)

はい。了解しました。

(大谷会長)

よろしいですか。ほかに質問がございましたら、お願いいたします。

小泉委員。ちょっとお待ちください。

(小泉委員)

内野・五十嵐まちづくり協議会の小泉でございます。新規事業で「土砂災害情報発信事業」のことなのですが、これはちょっと10万円というのはすごく感想としては少ない気がするのですが、どんな内容でというのをちょっと聞きたいです。

(加藤副区長兼総務課長)

今ほど西区役所から電話をかけます。今までのやり方を説明しますと、西区役所から該当

する自治会長さん、自治会3名の方に電話をします。それからコミ協さん、該当するコミ協さんに電話をします。そこから先は自治会さんの連絡網を使って電話をしていただいているというもので、これはその一連の作業を、一斉自動電話ということで、大体1件当たり200円程度の電話を自動でかけるというものでございまして、事業費にはその電話代。1件当たり200円の電話代が積み上がっているということでご理解いただきたいと思います。

(小泉委員)

わかりました。

(大谷会長)

ほかに質問はございませんでしょうか。

ないようですので、本日の本会は珍しく、各所管課からの報告はただいまの加藤副区長の西区の予算のみであります。その他に移りたいと思います。委員の皆様からお知らせはありませんでしょうか。

ないようですので、最後に事務局の連絡はありますでしょうか。

(八木澤係長)

それでは次回の会議の開催日についてご連絡させていただきます。本日お配りいたしましたお手元のA4資料「令和4年度西区自治協議会開催予定」、こちらをご覧ください。次回第2回自治協議会は、5月31日火曜日、午後3時から行います。会場は黒崎市民会館 ホールの予定です。会議の議題など、詳細につきましては運営会議と調整させていただき、改めて皆様へご案内させていただきます。

それとこの場をお借りして、ご連絡とお願いをさせていただきます。1号委員の皆様へ報告とお願いでございます。4月13日のコミュニティ協議会会長会議におきまして、区政懇談会のご案内をさせていただいておりますが、その中で過去の議題一覧については、後日お配りいたしますとお話しさせていただいております。少し時間がかかりましたが、本日まとまったものをご用意させていただきましたので1号委員で会長の皆様には直接今日お渡しさせていただいておりますし、会長以外の方につきましては、お手数なんですけど、会長にお渡しいただく封筒の中に一緒に入れてさせていただきましたので、お渡しいただければと思います。よろしく願いいたします。事務局からは以上となります。

(大谷会長)

ありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和4年度第1回の西区自治協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(終了)